

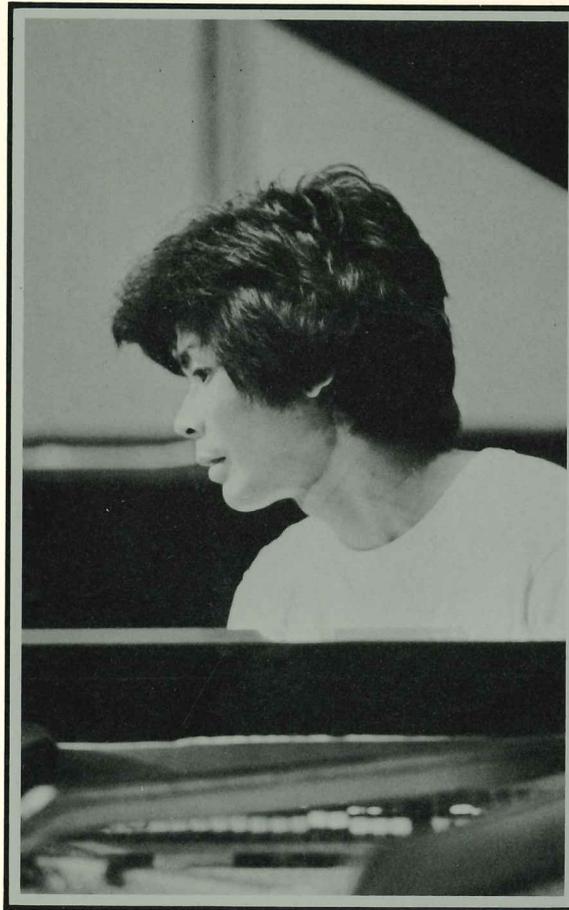
ALM  
RECORDS

STEREO  
AL-14



SEASONS  
YUJI TAKAHASHI, PIANO

SEASONS / YUJI TAKAHASHI, PIANO



SIDE A JOHN CAGE (1912~ )

①CHEAP IMITATION, 1969(excerpts) — 6'40"

②METAMORPHOSIS, 1938 — 16'43"

SIDE B ①THE SEASONS. BALLET IN ONE ACT, 1947 — 14'40"

J.S. BACH (1685~1750)

②TOCCATA No. 2 in c-minor BWV911 — 11'12"

Recorded from 「YUJI TAKAHASHI plays J.S.BACH & J.CAGE」 (Kanagawakenritsu-Ongakudo/May 30, 1974)

concert planner & promoter : TOST

recording engineer : KOUSAKU URANO

producer : YUKIO KOJIMA

cover art : YUICHI YAMABE

cover photo : TATSUYA YAMAGUCHI

art director : NOBUKAGE TORII

Manufactured by KOJIMA RECORDINGS, INC. Tokyo, Japan.

AL-14 ¥2,500-



# SEASONS

## YUJI TAKAHASHI, PIANO

### シーズンズ／高橋悠治ピアノ

#### SIDE (A) ジョン・ケージ(1912～)

- ①チープ・イミテーション (抜萃) 1969
- ②メタモルフォーシス 1938

#### SIDE (B) ①ザ・シーズンズ(一幕バレエのための) 1947

- J.S. バッハ(1685～1750)
- ②トッカータ第二番ハ短調 BWV911



1974年5月30日

神奈川県立音楽堂にて 「高橋悠治ピアノリサイタル・バッハとケージ」より実況録音

コンサート企画、主催：TOST 録音：浦野耕彦 制作：小島幸雄 カバー・アート：山部洋一 写真：山口達也 デザイン：鳥居信景

このレコードは、1974年5月30日に横浜の神奈川県立音楽堂でおこなったピアノ・リサイタルの録音からつくられた。横浜に住み、音楽が好きで、あるジャズ喫茶でよく顔をあわせる若者たちが企画し、自分たちの手で製作したコンサートの第1回であり、プログラムも、かれらの望みで、バッハとケージの作品を組み合わせたものだった。

1. ジョン・ケージ「チープ・イミテーション」(1969) より第1楽章  
ケージは、エリック・サティの「ソクラート」を、自分が音楽監督をしているマース・カニンガム舞踊団のために2台のピアノに編曲したいとおもっていたが、サティの出版者の同意が得られないので、かわりに安あがりのニセもの(チープ・イミテーション)としてこの曲を書いた。「ソクラート」の歌の旋律線と伴奏の一部をとり、それを易の操作(チャンス・オペレーション)によって、ちがう音階の上に転換する。この手続きによって、原曲とおなじリズムをもった単旋律の3楽章ができあがった。易の操作は、次の決定をする。

- 1. 7つの「白鍵」上の旋法のどれをつかうか?
- 2. 12の半音のどれからはじめるか?

この84通りの音階のなかの1つをえらんだ後で、第1楽章は(反復音をのぞく)各音について、えらばれた音階のどの音をえらぶかが決定される。2楽章以下は半小節か1小節の間、原旋律の音程関係はくずされていない。

#### 2. ジョン・ケージ「メタモルフォーシス」(1938)

5楽章から成る12音技法による作品。ただし、音列全体があらわれることはなく、その断片だけが、音列のなかの音程関係にしたがって移調されながら、使用されていく。それらの断片は、各楽章で特徴のあるリズム型の上に固定されてもいる。

#### 3. ジョン・ケージ「ザ・シーズンズ」(一幕バレエのための)(1947)

バレエ協会の委嘱で、ニューヨーク・シティ・バレエ協会のために書かれた。振付はマース・カニンガム、装置はイサム・ノグチだった。これは2管編成のオーケストラのための原曲からのピアノ編曲版。

インドの伝統的な季節観をあらわす。冬はしずけさ、春は創造、夏は保存、秋は破壊。全曲は冬への前奏曲にはじまり、冬、春への前奏曲、春、夏への前奏曲、夏、秋への前奏曲、秋とつづき、また冬への前奏曲に終わる。

2, 2, 1, 3, 2, 4, 1, 3, 1というリズム構造をもつ。これは、フレーズを成す小節数の列であり、それが全体を通じて循環している。

#### 4. J.S. バッハ「トッカータ第二番 ハ短調」BWV911

7曲のトッカータは、バッハの比較的初期に属する。このハ短調のトッカータには、自筆譜は発足されず、かれの生徒の写本のなかにふくまれている。

即興的な前奏にはじまり、アダージョをへて、アレグロのフーガにはいる。間奏をはさんでまたフーガにもどる時は、間奏につかわれたこまかいリズムもフーガに導入される。演奏では、2種類のテンポを設定して、それらの楽想を対照させた。

ジョン・ケージは、1912年にロサンジェルスに生まれ、アドルフ・ヴァイス、ヘンリー・カウエル、アルノルト・シェンベルクに学んだ。1930年代から打楽器アンサンブルや、かれ自身の発明したプリペアド・ピアノのための作品を書き、打楽器だけの音楽のコンサートを組織した。1950年頃から、易の操作によって作曲したり、図形楽譜による作品や、ハプニングによって、音楽だけではなく、現代芸術の動向に大きな影響をあたえてきた。

1977年3月 高橋悠治